

# 「感じる樹木」



日時：平成29年10月14日(土曜日) 10時～15時半(午前講演会、午後実習)  
場所：京都大学生存圏研究所 木質ホール3F  
受講料：一般2000円、 中高生無料(学生の聴講を歓迎します)

## ◆公開講座

10:00-10:40 「人はなぜ、森で感動するんだろう？」  
森林育成学分野 伊勢武史

10:40-11:20 「木の音と楽器の響き」  
生物機能材料分野 矢野浩之

11:20-12:00 「溶かして知る・活かす、木の化学」  
バイオマス変換分野 西村裕志

## ◆見学・実習

13:30-15:30

- コース1 「シロアリの感じる木材」
- コース2 「ナノセルロースに触れよう」
- コース3 「大吉山の自然と現地のものごたがり」

### 申込方法

氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、  
一般/中高生の区別、受講希望の実習コース1-3につ  
いて第3希望まで明記の上、メールまたはFAXでお申し  
込みください。

定員：80名(申し込み先着順)

- 1, メール [shinrin-koukai+2017@rish.kyoto-u.ac.jp](mailto:shinrin-koukai+2017@rish.kyoto-u.ac.jp)
- 2, FAX 0774-38-3600  
(京都大学生存圏研究所事務室 公開講座係)

申込締切は9月29日(金)です。

### 【お問合わせ先】

京都大学生存圏研究所事務室  
公開講座係

TEL : 0774-38-3601  
FAX : 0774-38-3600



# ◆講演会

10:00-10:40 「人はなぜ、森で感動するんだろう？」

森林育成学分野 伊勢武史

人はなぜ、森で感動するんだろう？

森が近くになくとも、公園の樹木や、街路樹や、観葉植物にいやされるのはなぜだろう？

たしかに、森や緑は生活必需品ではないが、人のところに多くの影響を与えている。

植物に対する愛着を持つのは日本人だけでなく、世界のさまざまな人々に共通している。

こう考えてみると、人は森や植物に対して特別な気持ちを持っているような気がする。

この研究では、その「特別な気持ち」はどのようなときに生じるのか、

そもそもなぜ人間は、そんな気持ちを持って生まれたのかを考えている。



10:40-11:20 「木の音と楽器の響き」

生物機能材料分野 矢野浩之

木材は、一般に軽くて良く振動するため、弦楽器などの振動板に適した材料である。

その中でも、バイオリンやギターの表板、ピアノの響板には、振動吸収の少ない木材が

経験的に選別されてきた。このことを踏まえ、化学処理により楽器用木材の振動吸収を

さらに小さくすることで、より響くバイオリンやギターの開発が行われている。



11:20-12:00 「溶かして知る・活かす、木の化学」

バイオマス変換分野 西村裕志

木は自然界で少しずつ分解して「土に還る」わけですが、これは主に微生物の働

きです。地球上には多様な微生物がいます。木を溶かして、分解して、食べる微

生物もいます。木を構成する成分を分子という小さいサイズで注目すると、「木

を溶かす」ことで新しい資源としての可能性が見えてきます。私たちの生活を豊

かに彩る物質を木からつくる試みについてお話しします。



# ◆見学・実習

13:30-15:30

コース1\* 「シロアリの感じる木材」

居住圏環境共生分野 柳川綾

森林性昆虫であるシロアリにとって、森はどう見えているのでしょうか。

昆虫の知覚に基づいて、木材をシロアリがどのように感じているのか、シロアリにとっての

世界を感じてみます。本実習では、家をシロアリから守るために工夫すべき点についても学

ぶことができます。



コース2\* 「ナノセルロースに触れよう」

生物機能材料分野 阿部賢太郎

地球上で最も巨大な生物は樹木です。樹木の大きな体は鋼鉄よりも強くても細い

「セルロースナノファイバー」によって支えられています。セルロースは古来より

様々な形で利用されてきましたが、現在、このセルロースナノファイバーを使った材料

が私たちの生活をも支えようとしています。天然のナノファイバーに触れてみませんか。

\*コース1, 2には材鑑調査室の見学も含まれます。担当：田鶴寿弥子、反町始



コース3 「大吉山の自然と現地のものがたり」

バイオマス形態情報分野 杉山淳司

源氏物語に登場する歴史薫る木々や世界遺産に登録された歴史的建造物などを

ながめながら散策しませんか。コース前半は「あじろぎの道」から「塔の島」

をへて「興聖寺」に向かいます。後半は、常緑樹の林を抜けて大吉山の展望台へ、

一休みの後は「さわらびの道」へとつづきます。集合は京阪宇治駅に午後1時半で

約2時間半の散策コースを予定しています。



## 【注意事項】

- 1, 昼食は各自でご用意ください。
- 2, 午後の実習コース1では実習で用いますので、手ぬぐい又はタオルを各自ご持参ください。
- 3, 午後の実習コース3は、13時半に京阪宇治駅に集合です。ご注意ください。